



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第291号

2016年10月31日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

TPPは「百害あって一利なし」

国会で審議されている環太平洋連携協定（TPP）は、農業分野だけでなく食の安全、医療、保険、公共事業調達など、国民生活全般に大きな影響を与えます。多国籍企業のじやまになる仕組みやルールは「非関税障壁」として撤廃されます。国民にとって百害あって一利なしです。

農水大臣は平然と「強行採決」を口にしてしています。国民に丁寧に説明すると言いながら8400ページを超える関連文書の和約は2400ページにとどまり、公表された交渉過程経過資料は表題以外すべて黒塗りです。これで採決など許されません。

八千代市農業の衰退に拍車か

日本の食料自給率はわずか39%です。TPPによる農産物の関税撤廃・引き下げで、日本の農業は壊滅的状況になります。政府は「TPPの批准があっても輸入米が国産米よりやすく売られることはない」と言っていました。しかし、輸入米が「調整金」という裏金によって国産米よりも2割も安く市場に出回っていることが明らかになりました。八千代市の農家からは「とんでもないことだ。約束が違う。農家を馬鹿にしている」と声が上がっています。



八千代市の農家はこの5年間で851戸から734戸に、農業収入を主にする第1種兼業農家は159戸から80戸へとそれぞれ大幅に減少しています。TPPの批准で衰退に拍車がかかります。

国民と野党が力を合わせて批准阻止を

日本共産党はこの間“ストップTPP”を訴えてきました。八千代市議団は2015年12月「TPP協定書作業からの撤退と調印中止を求める意見書」、2016年3月に「TPPの大筋合意を撤回し、協定への調印・批准を行わないよう求める意見書」を市議会に提出しました。しかし残念ながら否決されました。

TPPについて国民の73%が臨時国会にこだわらずに慎重な審議を望んでいます。国際的にも批判が広がり批准した国は1つありません。日本共産党は国民のみなさんと野党と力を合わせて、批准阻止のために全力を尽くします。